

絵を描くことすらも許されない時代がかつて日本にあった



太平洋戦争直前、北海道旭川市で起きた「生活図画事件」。
美術部の学生ら20人以上が逮捕された容疑は治安維持法違反だった。
彼らが描いた生活図画（身の回りの生活を見つめ、ありのままの姿を描く）は、
なぜ取り締まられたのか。この事件の最後の生き証人
となった菱谷良一さんは102歳を迎えた。
亡き友の遺志を継ぎ、老体に鞭を打ちながら、いまでも声を上げ続ける理由とは。

©kentaro Takahashi

102歳のことはば

～生活図画事件 最後の生き証人～

監督：長沢 祐

@HBC



1993年生まれ。北海道歌志内市出身。早稲田大学卒業後、民間金融機関の営業マンを経て、2018年にHBC入社。コンテンツ制作センター報道部で道警サブキャップや司法キャップを経験し、現在は道政・経済を担当。これまでに新型コロナウイルスによる旭川の医療崩壊や乗客乗員20人以上が死亡した知床観光船沈没事故などを取材。ドキュメンタリー番組では、道警ヤジ排除問題を追った「ヤジと民主主義」でギャラクシー賞報道活動部門優秀賞、日本ジャーナリスト会議によるJCJ賞、地方の時代映像祭などを受賞。のちに書籍化され、映画「ヤジと民主主義 劇場拡大版」が全国で公開。このほかコロナ禍の救急医療に密着した「救いたい命」を制作。趣味はスキー、ラグビー観戦、サウナ。



監督：長沢 祐

平和を守る全国弁護士会アクションの日

【日時】 2024年11月3日(日/祝)

入場無料
(予約不要)

13:00	開場
13:30	ミニ講義
13:50	上映開始 (71分)
15:10	監督トーク (15:30終了予定)

旭川で上映します！
監督来旭！

【場所】 旭川市立知新小学校 体育館 (旭川市8条通13丁目)

※旧旭川監獄跡地で、事件当時に菱谷良一さんが身体拘束を受けていた場所です。
※駐車場の台数には、限りがあります。

【主催】 旭川弁護士会 問合せ：0166-51-9527 【共催】 日本弁護士連合会